

水産海洋地域研究集会

**第9回 日本海研究集会**  
**人、環境にやさしい「海からの情報づくり」**  
**～ICT、IoT 技術と地域の水産業・海洋環境～**

**日 時**：2019年9月8日（日） 13：30～17：30（受付12：00）

**場 所**：福井県立大学永平寺キャンパス共通講義棟 112教室（福井県永平寺町松岡兼定島）

**共 催**：一般社団法人水産海洋学会，公益社団法人日本水産学会中部支部，公立大学法人福井県立大学

**コンピーナー**：富永 修・兼田淳史・細井公富（福井県大 海洋生資）

**挨 拶**：山下 洋（水産海洋学会会長）

横山芳博（日本水産学会中部支部長）

13：30～13：35

**趣旨説明**：富永 修（福井県大 海洋生資）

13：35～13：40

**話題提供**

座長 細井公富（福井県大 海洋生資）

1. 漁業者参加型海洋観測とそのデータ処理

13：40～14：05

滝川哲太郎（長崎大水産環境）

2. 漁船観測データ同化による海況予報の精度向上

14：05～14：30

広瀬直毅（九州大学応用力研）

3. 漁場の見える化で沿岸漁業者をサポート

14：30～14：55

伊東毅史（佐賀県玄海水産振興センター）

4. 福井沿岸域の定置網漁場におけるIoT活用

14：55～15：20

兼田淳史（福井県大 海洋生資）

—休憩—

座長 兼田淳史（福井県大 海洋生資）

5. ロボセンを活用した養殖場の高密度・高頻度水質計測の取り組み

15：30～15：55

二瓶泰範（大阪府立大）

6. 養魚管理を目的とした養魚モニタリング手法の構築

15：55～16：20

米山和良（北大院水産科学）

7. IoT、AI 技術を活用した自動給餌システムの開発

16：20～16：45

山中 実（福伸電機株式会社）

8. 小浜サバ養殖事業における IoT 活用

16:45~17:10

細井公富・富永修（福井県大 海洋生資）

### 総合討論

座長 富永 修・兼田淳史・細井公富（福井県大 海洋生資）

17:10~17:30

**開催趣旨：**情報通信技術が進歩を続ける現代、インターネット経由で「今の海の情報」を得られる時代を迎えつつあります。福井県沿岸を見ても、海の予報、鯖の養殖場の管理、漁場のモニタリングなど、次々と新たな技術の導入が進められています。このように、これまで蓄積されてきた科学情報に加えて、リアルタイムで収集される海洋情報を用いた高度な解析がAIにより可能になり、新しい水産業の展開が期待されます。本研究集会では、水産業におけるIoT、ICTの先進事例導入の実例とその将来について紹介し、参加者で次世代の水産海洋研究とその応用について議論したいと思います。